

医療ボランティア、災害時の対応を学ぶ

11月22日 災害時の医療救護研修会を実施

市は、災害時に迅速かつ円滑な救助活動を行うことを目的に、『災害時医療救護ボランティア・災害時健康支援ボランティア登録者研修会』を開催。登録申請をした医師や看護師など17人が参加しました。

研修会では、田方医師会所属の三原純医師による災害時の医療救護活動の話や、東日本大震災の救護活動の映像の様子などを紹介しました。

▶会場となった菰山福祉・保健センターの様子



会場に響く軽快な下駄の音を楽しむ

11月24日 下駄ダンスコンテストが開催

温泉といえば浴衣と下駄。力強い下駄の音とともに伊豆の国市を元気にしようと始まった下駄ダンスコンテストも、今年で8回目を数えます。

今回の大会は『北条早雲の章〜乱世の舞に願いを込めて』と題し、かつて伊豆一円を統治した北条早雲にちなんだテーマとして開催しました。埼玉県や兵庫県など全国各地から13組、106人が参加しました。

◀最高齢の80代男性（中央）による華麗なステップ



もしものときは、とにかく逃げる

12月1日 市内各地で地域防災訓練を実施

地域防災の日に合わせ、市内各地で防災訓練が行われました。自主防災会や消防団員など10,863人が参加、災害時の対応を確認しました。

古奈地区では、東日本大震災で被害を受けた宮城県多賀城市の市議会議員の吉田氏による講演会を開催。区民200人を前に「もしものときは、荷物ももたずとにかく逃げる」との重要性を話しました。

▶古奈区民を前に講演する多賀城市議会議員の吉田氏



市とJA伊豆の国が共催

12月8日 第2回伊豆の国農業まつりを開催

今年で2回目となる『伊豆の国農業まつり』を、JAグリーンプラザ伊豆の国で開催しました。あいにくの曇天にも関わらず、約4,000人が来場。会場は大盛況でした。農産物の展示・販売やステージアトラクションなど多数の催しの中でも、特に餅まきには山のような人だかりができていました。

同まつりは、市とJA伊豆の国が協力して農業振興の推進を目的に開催しています。

◀一番の人だかりができた餅まき



11月30日

静岡県市町対抗駅伝競走大会が開催

昨年を上回る



岡 社会教育課
☎ 055-948-1461

14回目となる静岡県市町対抗駅伝競走大会が、静岡市内を舞台に開催。県内39チーム(市の部27チーム、町の部12チーム)が、

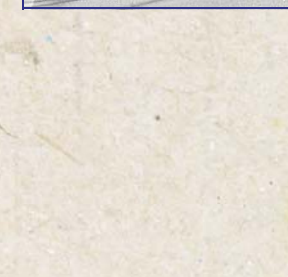
郷土の誇りを胸にしのぎを削りました。伊豆の国市は昨年より順位を1つ上げての22位でゴール。来年につながる結果となりました。



県庁前を一斉にスタート



第1区(ジュニアA女子) 大川和恵



第3区(小学生女子) 清水有羽



第2区(小学生男子) 山田悠貴



第4区(一般女子) 秋山由衣



第10区(ジュニアB男子) 岩田一馬



第5区(ジュニアA男子) 秋山尚輝



第6区(40歳以上) 佐藤正三



第7区(中学生男子) 高橋拓也



第8区(中学生女子) 三橋なつみ



第9区(ジュニアB女子) 宮口紗来



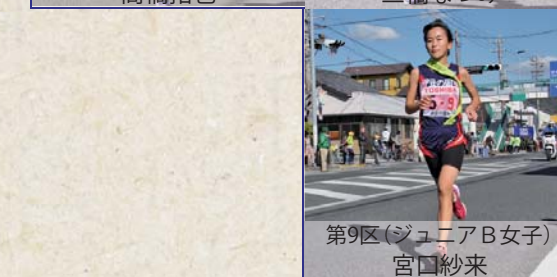
第11区(一般男子) 望月雅直



第12区(一般女子) 望月雅直



第13区(一般男子) 望月雅直



第14区(一般男子) 望月雅直



第15区(一般男子) 望月雅直



第16区(一般男子) 望月雅直



第17区(一般男子) 望月雅直



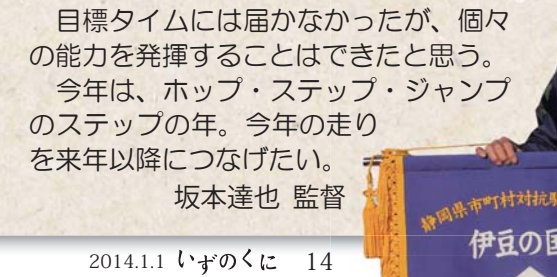
第18区(一般男子) 望月雅直



第19区(一般男子) 望月雅直



第20区(一般男子) 望月雅直



第21区(一般男子) 望月雅直

位

目標タイムには届かなかったが、個々の能力を発揮することはできたと思う。今年は、ホップ・ステップ・ジャンプのステップの年。今年の走りを来年以降につなげたい。

坂本達也 監督

